

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:茨城県 土木部 都市局 公園街路課

事業の名称:都市計画道路 稲荷町線 街路改良事業

実施都市名:茨城県 筑西市

事業目的

筑西市の下館地区は、JR水戸線や私鉄2社が乗り入れるなど、交通の要衝であることから、古くから県西一の商都として栄えてきました。特に、下館駅へのメイン道路となる「稲荷町線」の沿線は、市内一の中心市街地として親しまれてきました。しかし、自家用車の普及に伴い、道路幅員が狭かった商店街は、荷捌きや買い物客による路上駐車等によりたびたび交通障害が発生し、また、近年では郊外型ショッピングセンターの台頭により、中心市街地の空洞化が危惧されていました。

このような状況を踏まえ、本事業は、道路交通の円滑化や安全な歩行空間を確保するとともに、中心市街地の活性化に寄与することを目的として実施しました。

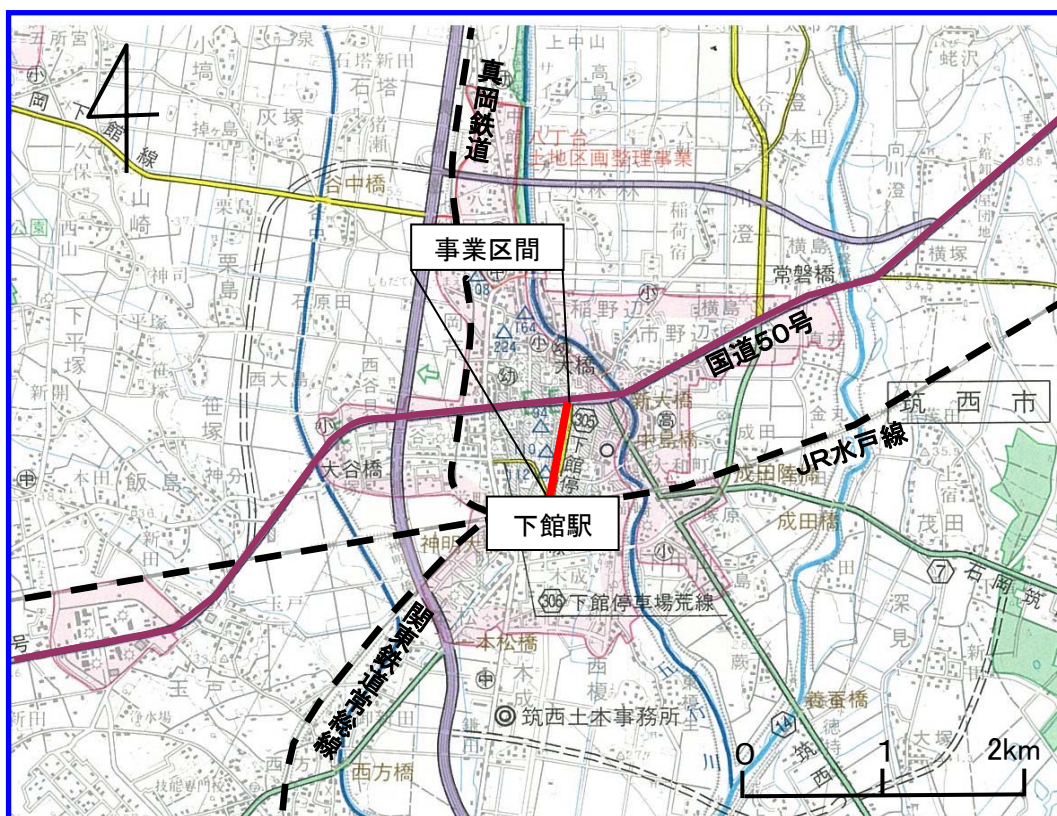
事業概要

事業名：都市計画道路 稲荷町線 街路改良事業
路線名：都市計画道路 稲荷町線
事業箇所：筑西市丙地内
事業延長：650m
幅員：16m(2車線)
総事業費：約66億円
事業期間：平成2年度～平成20年度

本事業は、歩道を含む道路幅員を12mから16mに拡幅するとともに、複合型公共施設「アルテリオ」や筑西しもだて合同庁舎を核としたシビックコア地区整備事業、駅前地区における市街地再開発事業など、中心市街地の拠点となる施設と一体的な整備を行いました。

また、歩道を3.5mに拡幅するとともに、セミフラット化し、視覚障害者用誘導ブロックを設置するなど、バリアフリーに配慮しました。さらに、電線地中化や自然石舗装によって都市景観の向上を図り、質の高い街路空間づくりに努めました。

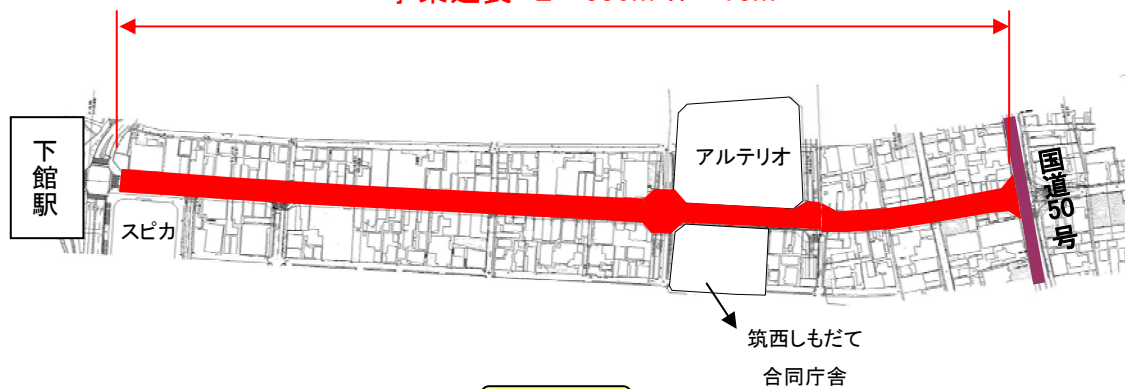
事業位置図



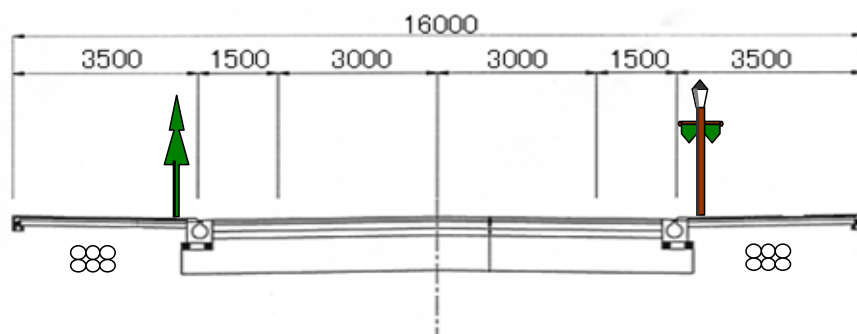
全体図(平面図・側面図・横断面図)

平面図

事業延長 L=650m W=16m



横断面図



都市計画道路 稲荷町線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 都市計画道路 稲荷町線
街路改良事業

路線名: 都市計画道路 稲荷町線

事業箇所: 筑西市丙地内

事業延長: 650m

幅員: 16/6m (全幅/車道)

総事業費: 約66億円

事業期間: 平成2年度～平成20年度

整備効果

整備前

車道も歩道も狭かった
駅前通り



整備後

広い車道と歩道で安全な駅前通りに



日本一の大みこしも
広くなった道で盛大に！



電線地中化・自然石舗装による美しい街並み



整備後のアンケート

約9割の利用者が

- 街並みが美しくなって快適になった。
 - 歩行や自転車の利用が安全になった。
- と回答しています。

その他の事業効果

- 沿道の商店街が街並み協定を結び、きれいな街並みを実現。
- 事業の完成式典を契機として「アートフェスタ」や「わっしょい市」など、地元がまちづくりイベントを定期的 to開催しています。

事業前写真

平成14年8月撮影



平成12年7月撮影



平成14年1月撮影



事業後写真

平成21年6月撮影



平成21年6月撮影



平成21年6月撮影

